

理事候補者選挙の手続きに関する細則改正について

・理事候補者選挙の電磁的方法による実施（理事候補者選挙催促第 6 条、第 7 条等）

現規程に基づく選挙管理委員会業務の課題として、(1) 少人数の選挙管理委員が郵送での投票にかかる諸業務を担う負担、(2) 実質的な事務局がない選挙管理委員会が各種対面業務を行うことの難しさ（学会事務局が業務のサポート等を行ってきた関連があるが、選挙管理委員ではない学会事務局長等が選挙業務に関与することは問題がある。かといって、選挙管理委員のみで投票用紙の郵送から収集・集計等の業務を行うことは現実的ではない。）、があると認識している。そこで、これらの課題を解消するため、クラウドシステム等を利用した「電磁的方法」での選挙にも対応した規程内容に変更する。

改正前

第 6 条（理事候補被推薦者名簿の作成）

委員会は、正会員に対し 2 週間の推薦期間を定めて理事候補者推薦を告示し、正会員の自薦又は他薦により 1 会員当たり 10 名以内の理事候補被推薦者を郵送によって募集するものとする。

2 委員会は、前項に定める正会員の推薦に基づき、理事候補被推薦者名簿を作成する。

第 7 条（選挙の実施）

委員会は、正会員に対し 2 週間の投票期間を定めて理事候補者の選挙を告示し、下記の手続きにより選挙を実施する。

（1）委員会設置日に在籍する正会員の住所に、委員会発行の所定の投票用紙、理事候補被推薦者名簿及び投票方法を記した文書を郵送する。

（2）投票は、理事候補被推薦者名簿から 10 名以内の連記により行う。

（3）投票は無記名によるものとする。

改正後

第 6 条（理事候補被推薦者名簿の作成）

委員会は、正会員に対し 2 週間の推薦期間を定めて理事候補者推薦を告示し、正会員の自薦又は他薦により 1 会員当たり 10 名以内の理事候補被推薦者を郵送又はクラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法によって募集するものとする。

2 委員会は、前項に定める正会員の推薦に基づき、理事候補被推薦者名簿を作成する。

第 7 条（選挙の実施）

委員会は、正会員に対し 2 週間の投票期間を定めて理事候補者の選挙を告示し、下記の手続きにより選挙を実施する。

（1）郵送によって実施する場合は、委員会設置日に在籍する正会員の住所に、委員会発行の所定の投票用紙、理事候補被推薦者名簿及び投票方法を記した文書を郵送する。クラウド方式の投票管理システム等の電磁的方法によって実施する場合は、委員会設置日に在籍する正会員に対して、理事候補被推薦者名簿及び投票方法の詳細を記した文書を郵送または電磁的方法により通知する。

（2）投票は、理事候補被推薦者名簿から 10 名以内の連記により行う。

（3）投票は無記名によるものとする。

以 上